

第2回サイエンスレクチャー

4月9日に第2回サイエンスレクチャーを行いました。

2回目のサイエンスレクチャーでは、iC ルーブリック検討チーム代表の3年生2名が新入生全員へiコンピテンシーの説明をしました。

iコンピテンシーとはSSH第IV期（R1～R5）に作成した岡山一宮高校で育てる5つの資質能力のことです。令和5年度に1,2年生評議員とユネスコ・SSH委員の総勢64名でiCルーブリックについての検討チームを組織し、検討チームの生徒たちに従来のルーブリックの改善について議論を行っていただきました。

検討チームの生徒たちは、iコンピテンシーを実行や達成して終わるのではなく、次につなげるものにすることを意識しながら、下位尺度（その力を構成する説明文）の内容を具体的にして到達するところが高くなるように、従来の4段階の次の段階（次の課題）を考えました。

その結果、従来では4段階だった評価基準の上に卓越した段階（S段階）を新たに加えることができました。

今回のサイエンスレクチャーでは、S段階についての説明や設定した経緯について3年生に説明してもらいました。3年生がしっかりと説明してくれたことで新入生にもわかりやすいレクチャーとなりました。

【サイエンスレクチャーを行った生徒の感想】

- ・ 検討チームで考える前は、iコンピテンシーについて懐疑的であまり内容を気にすることはなかったけど、自分たちで考えたことでiコンピテンシーがみんなの目標になってくれたらいいと思うようになった。そして、iコンピテンシーを意識して心がけるようになった。
- ・ これを機に岡山一宮高校がさらによくなってくれたらいいと思う。
- ・ 最初は大変な役を担ったなと思ったが最終的にはやってよかったと思った。
- ・ サイエンスレクチャーでの発表を通して情報を表現する力があがった。議論の時にグループの意見をまとめたことでコミュニケーション力が上がった。

